

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

大項目	持続可能な財政運営				No.	56	
中項目	中長期的な収支均衡、事務事業の選択と集中による計画的な歳出の見直し				担当課	財務課● 財産管理運用課	
具体的な改革項目	事業や施設のコスト分析を行い予算編成に反映						
現状と課題 (これまでの取組)	事業や施設のコスト、利用状況、将来見通しなどについて、統一的な整理を行っていないため、中長期的な視点など多面的な分析が、予算編成への確に反映しきれていない面がある。						
改革実施概要	改革の目的、考えられる効果	・事業や施設については、建設費やその後のコストを的確に把握するとともに、利用状況や受益者負担、事業効果など多面的な分析を行うことで、計画的かつ効率的な財政運営が可能となる。					
	取組の内容	・基準モデルでの財務書類や施設カルテなどを予算編成に活用 (施設カルテ：各施設の利用状況や費用などの情報をわかりやすく整理した資料)					
	取組工程 (具体的な内容)	現状	平成25年度		平成26年度		最終目標/ 27年度以降
			計画	実績	計画	実績	
	・基準モデル移行の前提となる、市有財産の台帳を整備 ・施設カルテの作成準備	・基準モデルを平成24年度決算で試行的に作成するとともに、施設カルテなどを用いた分析を予算編成に反映させる手法を検討	・基準モデルを24年度決算で試行的に作成し、公表した。 ・予算編成への活用方法について、関係課と協議し、調査・検討を行った。	・基準モデルを平成25年度決算で本格実施するとともに、施設カルテなどを用いた分析を予算編成に反映	・基準モデルを25年度決算で作成し、公表した。 ・施設カルテを予算査定資料として活用した。 ・施設カルテを用いての新増築計画に対する事前協議制度を検討した。	・財務書類や施設カルテなどを用いた分析から中長期的な収支均衡、事務事業の選択と集中による計画的な歳出の見直しを行う	
指標	施設カルテなどを用いた分析の予算編成への反映	—	検討	検討	反映	反映	継続して実施

進捗管理	(各年度10月、年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
	取組の状況	上半期 (4～9月)	・作成作業を実施 ・関係課と意見交換	予定通り 進捗	・作成作業を実施 ・関係課と協議	予定通り 進捗
		下半期 (10～3月)	・作成資料の公表 ・手法の調査・検討	予定通り 進捗	・作成資料の公表 ・施設カルテの活用	予定通り 進捗

年度評価	(年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
	取組工程、指標に対する評価		計画通り、作成・公表するとともに、活用方法を検討した。	B	計画通り、作成・公表するとともに、活用方法を検討し、予算編成の参考とした。	B
		課題、今後の方針、改善事項など		・予算編成への活用		・統一的な基準に基づく財務書類への対応 ・予算編成への更なる活用

計画期間の評価	(平成26年度上半期終了後に実施、下半期終了後に最終確定)		総合評価			平成27年度以降
	取組工程、指標に対する評価		計画通り、基準モデルによる財務書類を作成・公表した。財務書類や施設カルテの活用方法について、関係課と調査・検討を進めるとともに、施設カルテを予算査定資料として活用し、予算編成の参考とした。		B	統一的な基準に基づき財務書類を作成するとともに、財務書類や施設カルテの更なる活用を図る。
		課題、今後の方針、改善事項など		・統一的な基準に基づく財務書類の作成・活用 ・施設カルテの更なる活用		